

第188回 広島数理解析セミナー (2015年度)

Hiroshima Mathematical Analysis Seminar No.188

日時 : 6月12日(金) 16:30~17:30

場所 : 広島大学理学部 B707

講師 : 千原 浩之 氏 (筑波大学)

題目 : Fourth order dispersive systems and dispersive flows into Riemann surfaces

要旨 : 円上のある4階線型分散型偏微分方程式系の初期値問題を考察する。リーマン面上の閉曲線運動を記述する分散型写像流を念頭に置いている。まず、この初期値問題が適切となるための必要十分条件を与える。次に、この結果をふまえて分散型写像流の方程式の構造を考察し、初期値問題が解けるためにはリーマン面が定曲率であることが「ほぼ必要である」ということを説明する。

広島数理解析セミナー幹事

池畠 良 (広大教育)	ikehatar@hiroshima-u.ac.jp
川下 美潮 (広大理)	kawasita@math.sci.hiroshima-u.ac.jp
倉 猛 (広大理)	kura@math.sci.hiroshima-u.ac.jp
佐々木良勝 (広大理)	sasakiyo@hiroshima-u.ac.jp
★滝本 和広 (広大理)	takimoto@math.sci.hiroshima-u.ac.jp
眞崎 聡 (広大工)	masaki@amath.hiroshima-u.ac.jp
水町 徹 (広大理・総科)	tetsum@hiroshima-u.ac.jp
三竹 大寿 (広大 ISSD)	hiroyoshi-mitake@hiroshima-u.ac.jp

★印は本セミナーの責任者です